

年度 2008 学期 前期	曜日・校時	金曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション II (English Communication II)			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー	担当教員: 橋本 高明 /Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: /オフィスパワー: 金曜日昼休み			
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 (500 文字)</p> <p>授業のねらい: この授業では、以下に示す言語技能の習得を目指す。</p> <p>a) 平易な英語による場面描写を聞いて、それに対応する写真を選択することができる。 b) 平易な英語による質問を聞いて、それに対応する適切な応答の表現を選択することができる。 c) 平易な英語による対話を聞いて、その内容、話者の意図、場面設定を正確に理解することができる。 d) 平易な英語による短い告知・ニュース・講演・演説などを聞き、その内容を正確に理解することができる。 e) 平易な英語の単文中の空欄に適切な語を補って単文を完成することができる。 f) 平易な英語の文章中の空欄に適切な語を補って文章を完成することができる。 g) 平易な英語の文書・手紙・広告・掲示物などを読んでその内容を正確に理解することができる。</p> <p>授業方法: 毎週、教科書にそって演習を行う。進度は各週 2 課ずつの予定。 授業到達目標: 担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上の場合において、上記「授業のねらい」の(a)-(g)の言語技能を運用できるようになる。</p>				
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>第1回 授業の内容・方法の説明、TOEIC の概要 第2回 Unit 1: 人物の動作を表す表現/名詞・代名詞・冠詞 / Unit 2: 2 人の動作、位置問題/Office Memo に関する問題 第3回 Unit 3: Who, When, Where で始まる質問問題/形容詞表現、接続詞 / Unit 4: What, Why, How で始まる質問問題/ Letter に関する問題 第4回 Unit 5: 場所、場面の Where, 人間関係の Who/記事 / Unit 6: 話題や全体の儀容を尋ねる What/記入用紙 第5回 Unit 7: アナウンスの問題/ビジネス文書 / Unit 8: 天気予報の問題/図表 第6回 Unit 9: Practice Test (1)、復習1 第7回 復習2、中間試験 第8回 Unit 10: 複雑な写真(オフィス)問題/動詞表現 / Unit 11: 勧誘、提案、オファー(申し出)を表す質問問題/Office Memo 応用問題 第9回 Unit 12: 数字など詳細な情報の理解を試す問題/ニュース問題 / Unit 13: ニュース問題/動詞表現 第10回 Unit 14: 複数の人物の動作、様態など複雑な情報の問題/Advertisement 問題 / Unit 15: 依頼、許可を求める質問問題/広告問題 第11回 Unit 16: 会話の展開の把握を試す問題/意味・語法の似た単語 / Unit 17: ビジネス、アナウンス問題/Business Article 問題 第12回 Unit 18: 街の風景問題/手紙文問題 / Unit 19: 疑問詞のない質問への応答/品詞 第13回 Unit 20: 構文や言い換え表現の理解を試す問題/Letter 応用問題 / Unit 21: 広告、アナウンス問題/通知問題 第14回 Unit 21: Practice Test (2)、復習3 第15回 復習4、期末試験</p>				
キーワード	TOEIC			
教科書・教材・参考書	<p>教科書: Ishii, Takayuki, Kuniko Shimada, Yuko Matsumura, and Daniel Aronoff. <u>A Spiral Course for the TOEIC test.</u> Tokyo: Kinseido, 2008.</p> <p>参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京:数研出版 1990 年。 *この他にテキスト・教材がある場合には第 1 回授業で指示する。</p>			
成績評価の方法・基準等	この授業を履修し単位取得するためには、担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上の場合において、上記「授業のねらい」の(a)-(g)の言語技能を運用できると判定されなくてはならない。成績は 2 回の試験と授業発表・宿題・提出物による総合評価で決定する。2 回の試験の評価を最終評価の 80%、授業発表・宿題・提出物の評価を最終評価の 20%とする。正当な理由なく 4 回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)	各週の授業では、テキストの 2 つの課の内容を演習する。履修者は該当の課を予習し、演習準備をして授業に臨むこと。各週の授業には、テキスト・辞書・筆記具をかならず持参すること。			